

分野:専門分野Ⅱ 科目:老年看護学方法論Ⅰ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	2年次
講師名	教員	実務経験 看護師として医療機関に勤務経験あり			
授業概要	慢性期疾患を持つ高齢者の事例を通し、老年期で起こりやすい看護問題、健康障害でおこる看護問題について学習する				
到達目標	1. 高齢者の特徴を踏まえて、健康障害を持った患者の看護過程が展開できる。 2. 看護における記録について理解することができる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
		事例展開【15時間】			
	1	肝臓の機能について 事例紹介、様式Ⅰ	講義		
	2	様式Ⅰ、様式Ⅱ(酸素摂取)	講義		
	3	様式Ⅱ(栄養、排泄)	講義		
	4	様式Ⅱ(排泄、活動と休息、防衛)	講義		
	5	様式Ⅱ(体液・電解質、自己概念、役割機能、相互依存)	講義		
	6	様式Ⅳ(関連図)、様式Ⅴ(診断プロセス)	講義		
	7	様式Ⅴ(計画、介入、評価)	講義		
		終了試験			
		看護過程の展開【15時間】			
	8	法的位置づけ、看護記録の目的、記録の形式	講義		
	9	事例(肝硬変)情報収集	講義		
	10	行動計画表Ⅱの書き方(目標、理由)	講義		
	11	行動計画表Ⅱの介入計画	講義		
12	事例 心不全	講義			
13	事例 便秘	講義			
14	事例 認知症	講義			
15	終了試験				
使用テキスト等	基準看護計画 第3版 照林社 看護診断ハンドブック 第10班 リンダJ・カルペニート 医学書院 ロイ適応看護モデルによるアセスメントガイド				
評価方法	筆記試験、課題レポート、出席状況 他				

分野:専門分野Ⅱ 科目:老年看護学方法論Ⅱ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	2年次
講師名	臨床看護師	実務経験	看護師として医療機関に勤務		
授業概要	1. 加齢による機能低下や疾患・障害をきたしやすい高齢者の生活機能を整える看護援助について学習する。 2. 高齢者に特有な疾患・障害に応じた看護ができる能力を養う。				
到達目標	1. 高齢者の生活機能を整える看護について理解できる。 2. 治療を受ける高齢者の看護ケアと健康逸脱からの回復を促す看護が理解できる。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
	1	第5章 高齢者の生活機能を整える看護 基本動作とアセスメント看護	講義		
	2	廃用症候群のアセスメントと看護	講義		
	3	食事、食生活のアセスメントと看護	講義		
	4	排泄、清潔のアセスメント看護	講義		
	5	生活リズム、セクシュアリティのアセスメントと看護	講義		
	6	高齢者の状況に応じたコミュニケーションの方法	講義		
	7	社旗参加	講義		
	8	第6章 健康逸脱からの回復を促す看護 脳卒中、心不全、糖尿病、パーキンソン病、肺炎	講義		
	9	COPD、インフルエンザ、がん、骨折、うつ	講義		
	10	せん妄、認知症	講義		
	11	認知症について(睡眠障害、コミュニケーション法など)	講義		
	12	第7章 検査を受ける高齢者の看護 薬物療法を受ける高齢者の看護	講義		
	13	手術を受ける高齢者の看護 リハビリテーションを受ける高齢者の看護	講義		
	14	入院治療を受ける高齢者の看護	講義		
15	終了試験				
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院				
評価方法	学科試験 課題レポート 出席状況 他				